

平成 29 年度（2017 年度）事業報告

はじめに

今年度は活動 20 年目を迎え、9 月 22 日に記念イベント「地球のステージ」を厚木市文化会館小ホールで開催しました。当日は会員やボランティアの皆さんをはじめ、日頃連携している市内の地域福祉団体や WE21 ジャパングループメンバーも参加してくれました。

厚木の 20 年間の活動を振り返り、「地球のステージ」を通じて途上国や紛争地の現実を知り、未来に向けて私たちが出来る事を考える機会となりました。

また運営委員を中心に各自が広く参加をよびかけることで、これまで WE21 ジャパン厚木の活動を知らなかった人たちにも関心を広げることが出来ました。

リユース・リサイクル事業においては、厚木 1 号店において、これまで支援フェアで扱ってきた着物の常設、「着付け教室」の開催等による着物への関心の広がりや、新たなお客様の層を広げました。

リサイクル業界全体が低迷している昨今、「WE ショップ厚木」も例外ではありません。12 月以降は運営委員会で事業分析を行い、今後の事業の継続の可能性を評価点検しながら、次年度様々なシミュレーションをしていく方向です。

同時に年間を通じて公益法人運営の専門家を交えたアドバイザーミーティングを開催し、非営利型一般社団法人と NPO 法人による事業のすみ分け等についての検討や、未来にむけて新たな組織運営の可能性を模索しました。

■基本方針

- 1 20 周年を機に地域の人たちに働きかけて、活動への共感者を増やす。

1) チャリティショップでのリデュース・リユース・リサイクル推進事業

(1) リユース活動の推進

- チャリティショップ「WEショップ厚木」で、一般市民及び団体から寄付された衣類や日用雑貨、美術品、骨董品等を必要な方に入手してもらい環境への負荷が少なくなるようリユースを進めました。

- ①期 間 通年
- ②場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店
- ③対象者 一般市民
- ④内 容 不要になった寄付品の受入及び提供

<実績> 2017年度活動実績表 人数は延べ人数 () 内前年対比

	厚木1号店	厚木荻野店	合計
寄付者数	3,422件 (99.1%) 内新規 78件 (93.9%)	1,534件 (102.9%) 内新規 115件 (105.5%)	4,956件 (101%) 内新規 193件 (99.7%)
顧客数	20,514人 (94.7%)	7,524人 (95.9%)	28,038人 (95.3%)
売上高	16,239,382円 (その内衣類雑貨は 前年比 93.7%)	7,540,181円 (その内衣類雑貨は 前年比 101.6%)	23,779,563円 (その内衣類雑貨は 前年比 97.65%)

厚木1号店

- ・今年度からこれまで「支援フェア」で販売していた着物やバッグを常設にし、前年度のフェアでの寄付額を上回りました。
- ・高級家具、高級ジュエリーの寄付があり全額寄付金とさせていただきました。
- ・衣類の質が大幅に落ちたこともあり、2017年度は初めて1年間実績が下がりました。

厚木荻野店

- ・寄付品は現状維持でしたが、顧客数の減少が続いているのが課題です。毎月28日開催のWEマルシェ等イベントには数が伸びるので、日常につなげる広報戦略や企画の工夫が必要です。
- ・支援イベントを通常に切り替えながら、今年度独自の20周年イベント広報宣伝費や物件契約更新料の支払いを行った厳しい1年でした。

- 着物のリユース活動を進める方法として「着付け教室」を開催しました。

- ①期 間 通年
- ②場 所 WEショップ厚木1号店(月2回)
- ③対象者 一般市民
- ④内 容 着物の着付けを習うことで着物文化への関心を広げる。
- ⑤参加費 1回500円を講師に支払う。

<実績> 6月2回 7月2回 9月1回 11月2回 12月2回 1月1回
2月2回 3月2回 合計14回開催 延べ54人参加(2月末)

(3) リサイクル活動の推進

●寄付された品物の中でリユースできなかつた衣類等をリメイクボランティアチームの「おりひめ」や布ぞうり製作ボランティアに託し、リサイクルを進めました。

①期間 通年

②場所 WEショップ厚木1号店(毎週水曜日)・ボランティア自宅

③参加者 一般市民

④内容 洋服・バッグ・スカーフ・小物等、布ぞうり

<実績>リメイク 販売点数 140点 → 売上総額 167,155円
布ぞうり 販売点数 222足

●再利用できなかつた衣類等を故繊維業者に託し、リサイクルを進めました。

①期間 通年

②対象者 ナカノ(株) 秦野工場

③内容 リユースできなかつた衣類等

<実績> 搬出袋数 厚木1号店 596袋 厚木荻野店 539袋

●リユース出来なかつた綿製品は、必要とされている高齢者福祉事業所等に、80リットル袋108円で提供しリサイクルを進めました。

①期間 通年

②対象者 高齢者福祉事業所3か所

③内容 リユースできなかつた綿製品

<実績> 厚木1号店 29袋 厚木荻野店 15袋

(4) 広報活動

上記の活動への共感者を広げるために、ニュース発行と配布、店内広報の充実、ソーシャルメディアの活用を進めました。

①期間 通年

②対象者 一般市民

③内容 ニュース(年2回)・チラシ・店内広報・その他必要に応じた広報物発行

<実績>

*寄付品募集ちらし

9月2017年度版寄付募集ちらしを10000枚作成し、市内にポスティングしました。

*ローカルニュースの発行

「WE21 厚木ニュースNo.54」 発行日 2017 年 7 月 1000 枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.55」 発行日 2018 年 3 月 1000 枚発行

*ミニコミ紙への掲載

20 周年記念イベントの告知のため、ミニコミ紙「リベルタ」に 3 回有料広告を掲載しました。

*店内広報の充実

チャリティショップとしてのアピールに力を入れました。

*ソーシャルメディアの活用

フェイスブックにリアルタイムに情報を載せるよう努めました。

2) 国内外の寄付支援事業

開発途上国の貧困をなくすために、アジアの人々、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援しました。国内においては、東日本大震災復興を支援しました。

(1) 国内NPO、NGOを通じた海外プロジェクト支援の実施

①時 期 2017 年 3 月実施

②対象国 カンボジア・ネパール等、他にも支援を必要としている国

③内 容 女性や子どもたちの命や人権を守る活動を継続支援他

<実績> 総額： 170 万円

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
カンボジア	認定 NPO 法人 「幼い難民を考える会 (CYR)」	「村の幼稚園」地域での継続運営にむけて	50 万円
	認定 NPO 法人 「国際保健協力市民の会(シェア)」	子どもの栄養改善 1000 日アプローチプロジェクト	30 万円
ネパール	NPO 法人ベルダレルネーヨ(ネパリ・バザーロ)	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子どもたちへの高等教育支援	80 万円
バングラ デシュ	ジュマ・ネット	ロヒンギャ難民緊急支援	10 万円

●その他の寄付

寄付切手、書き損じはがき → 「幼い難民を考える会(CYR)」へ寄付

海外コイン → 「ユニセフ」へ寄付

使用済切手 → 「シャプラニール=市民による海外協力の会」へ寄付

使用済テレホンカード→「日本国際ボランティアセンターカンボジアチーム」へ寄付

(2) 国内NPO、NGOを通しての寄付支援

●東日本大震災復興支援を実行しました。

- ① 時期 2018年3月実施
- ② 対象 気仙沼
- ③ 内容 復興支援

*3月10日は「3.11を忘れない」の復興支援イベントを行い、当日のWEショップ厚木1号店及び厚木荻野店の売上金全額を支援金とし、気仙沼のNPO法人「生活支援プロジェクトK」に送りました。

*東日本大震災復興支援への募金箱を設置し、同上のNPO団体に送りました。

<実績> 総額： 862,367円(店頭募金を含む)

支援地域	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
宮城県 気仙沼市	NPO 法人 「生活支援プロジェクトK」	地域住民の生活支援、地域コミュニティ形成の促進プロジェクト	762,367円 (布ぞうり等販売寄付金及び店頭募金含む)
福島県	NPO 法人「ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」	福島県からの自主避難者住み替え金	10万円

●東日本大震災被災地の製品を取り扱い復興を支援しました。

- ① 期間 通年
- ② 対象 気仙沼市 有限会社ムラカミ
- ③ 内容 海産物

<実績> 年間仕入れ金額： 1,704,510円

3) 国際理解を深めるための事業

フェアトレード品の提供や講座・キャンペーンの開催を通じて、開発途上国の人々の現状を学ぶ機会を作り、国際理解を深めるための活動へ、広く参加をよびかけました。

(1) フェアトレードの推進

途上国の人々の生活を支える「フェアトレード」を広く広報し、「もうひとつの海外支援」としてフェアトレード品を取扱い、推進しました。

- ① 期間 通年
- ② 対象 ネパール・インド・カンボジア等
- ③ 内容 コーヒー・紅茶・チョコレート・バッグ・クラフト小物等

<実績> フェアトレード品 年間購入金額 668,838円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ()内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザーロ (ネパールの珈琲、 紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (ブラジルの珈琲、インドのヤ ギ革製品、チョコレート)	フレンズ・オブ・アシ ーラ (パレスチナ のオリーブ石鹸)	シャンティ国際ボラ ンティア会 (タイ、カ ンボジア等の工芸品)
223,575 円	421,707 円	10,850 円	12,706 円

(2) WE 講座(報告会)の開催

支援先の国際協力NGOやNPO団体のメンバー及びフェアトレード団体による活動報告会を開催し、お互いの交流を深めました。

- ①時 期 年間3回
- ②場 所 公共施設等
- ③対 象 一般市民
- ④内 容 支援先の報告会及びフェアトレード団体による活動報告会

<実績>

	テーマ	講師等	場所
6/29	東日本大震災復興支援 気仙沼の支援先の活動報告	NPO 法人「生活支援プロジェクトK」 事務局長西城宗子さん	アミュー あつぎ
10/13	カンボジア支援先活動報告 及び軍手人形づくりのワー クショップ	認定NPO 法人「シェア＝国際保健協 力市民の会」	アミュー あつぎ
3/19	ネパール支援先「若者の高等 教育奨学金支援」活動報告	有限会社「ネパリ・バザーロ」 代表 高橋百合香さん	アミュー あつぎ

● 県央地区 WE21 地域合同 WE 講座の開催

(厚木、海老名、座間、相模原、綾瀬、伊勢原、大和の7つの地域法人)

8/4 「ファイバーリサイクルの現状と今後」

講師：ナカノ(株) リサイクル部 工場統括マネージャー 藤田修司さん

会場：海老名市文化会館会議室

(3) 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

10 月には、国連が定める「貧困撲滅デー」に合わせ「貧困なくそうキャンペーン」を展開し、ホームページ、フェイスブック、店内掲示、チラシ配布により広く市民に参加をよびかけました。

- ① 期 間 2017 年 10 月

②場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店

③対 象 一般市民

<実績>

★ 開催期間：10月13日～21日

★ 内容 : MDG's 私たちが目指す世界「2030年までの持続可能な開発目標」
17の開発目標を店内に掲示し、来店者に関心のあるテーマを選んでもらった。

(4) 地域とのつながり

●市内の高齢者や子ども等の非営利の12団体がネットワークする「ヒューマンサポートネットワーク厚木」と交流することでお互いの活動の情報交換をすすめ国際理解への関心を高めました。

① 期 間 通年 月1回開催の運営会議に出席

<実績> ・年間通じてフェアトレード品の共同購入にご協力いただきました。

実績 285,037円

※ご協力いただいた各事業所

ケアセンターあさひ、厚木南包括支援センター、保育園ViVi、
おひさまっこ保育園、学童保育なないろのたね、くれよん保育室
障がい児支援ダイルームとんとん

・10/14 ケアセンターあさひ主催 「あさひまつり」に参加しました。

●KTC中央高等学院厚木キャンパスの学生をボランティアとして受け入れ、今年で5年目になりました。

① 期 間 通年

<実績> 年間20回 ボランティアで様々な仕事を手伝っていただきました。

4) 日本におけるチャリティショップシステム定着のための人材育成事業

(1) ボランティア及びスタッフの育成

●ボランティアの募集

日常的にさまざまな活動を通じてボランティアを募りました。

① 期 間 通年

② 場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店

③ 対 象 一般市民

<実績>登録ボランティア数：厚木1号店14人 厚木荻野店22人 リメイク8人

●ボランティアミーティング及びスタッフミーティング

定期的に開催するボランティアミーティング及びスタッフミーティングを通じて情

報を共有、課題の整理、活動への提案につなげました。そのことによって参加の意義や目的を共有できるように努めました。

① 期 間 通年

② 場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店

③ 対 象 ボランティア登録者・ショップスタッフ

<実績> スタッフミーティング :厚木1号店及び厚木荻野店でそれぞれ毎月開催
ボランティアミーティング :厚木1号店 10回(12月忘年会含む)
厚木荻野店 7回(1月新年会含む)

●ボランティア・スタッフの育成

今年度は具体的なプログラムを組んで実行することが出来ませんでした。

(2) 見学の受け入れ

活動に関心のある個人、団体の見学を受け入れ、社会貢献型のチャリティショップシステムへの共感を広げました。また同じ目的で活動する地域団体への情報提供に努めました。

① 期 間 通年

② 場 所 WEショップ厚木1号店・WEショップ厚木荻野店

③ 対 象 チャリティショップの推進活動に関心のある個人・団体

<実績>

7/5	WE21 ジャパンいずみ	見学	厚木荻野店	20名
11/24	WE21 ジャパンつるみ	見学	厚木1号店	7名
1/31	WE21 ジャパンほどがや	見学	厚木荻野店	6名
2/16	上野千鶴子さんとその団体	が見学	厚木1号店	8名

5) 組織運営

(1) 運営委員会の開催

総会で決定された事業方針に基づき事業を推進しました。下半期には、組織運営やショップ事業の分析及び課題と対策について討議する時間を設け、次年度の方針につなげました。

① 期 間 通年

② 場 所 WEショップ厚木1号店会議室

③ 対 象 運営委員

<実績> 運営委員会 12回 臨時運営委員会 2回 開催

(2) 会員

法人会員にはニュースの送付等を通じて情報を開示し、講座やイベントへの参加を呼びかけました。

① 期 間 通年

② 人 数 期首 88名 期末 83名

(3) 20周年記念事業の開催

設立 20 周年を記念し、以下の事業を進めました。

① 期 間 2017年9月22日(金) 13時～15時

② 場 所 厚木市文化会館 小ホール

③ 内 容 ・20年間の活動を振り返り、活動を未来につなげる
・「地球のステージ」の開催

④ 対 象 会員、ボランティア、WE21 ジャパングループ、他団体、一般市民

⑤ 参加費 入場料：前売り 800円 当日 1,000円 (小学生以下無料)

<実績> 参加者:186名

後援：厚木市教育委員会

ヒューマンサポートネットワーク厚木

有限会社市民かわら版

◎協賛の厚木市教育委員会へ提出資料より抜粋

事業概要	チャリティショップ「WE ショップ厚木」事業を通じて国内外支援活動を行ってきたこれまでの20年間の振り返り、世界の紛争地や貧困に生きる人々の様子を伝える「地球のステージ」の公演を通じて、未来に向けて私たちが出来ることを参加者と共に考える。
事業実施による成果	当法人の会員やボランティアの他様々な分野の方たちの参加がありこれまで支えていただいた感謝の意を伝えることが出来た。また紛争地や東日本大震災被災地の現状を伝える「地球のステージ」の内容も素晴らしく「感動した」「参加して良かった」との声が多くあった。

◎収支報告書

収入項目	決 算 額
参加料	137,200 円
他団体からの助成金	10,000 円
ご祝儀	18,000 円
寄付金	400 円
法人等会計より支出	281,870 円
計	447,470 円

支出項目	決 算 額
公演料	165,000 円
交通費	5,340 円
音響委託料金	80,000 円
会場費	21,888 円
当日かかるレンタル料	24,060 円
消耗品費	4,082 円
広報宣伝料金	125,160 円
飲食代	7,736 円
通信費	12,972 円
計	447,470 円

(4)アドバイザーミーティングを開催

元内閣府公益社団法人委員会事務局の平澤秀樹さんにアドバイザーをお願いし、一般社団法人 WE21 ジャパン厚木及び NPO 法人 WE21 ジャパン厚木合同で、今後の組織運営の在り方について模索しました。

<実績> 5月 7月 9月 10月 11月 2月 3月 合計